

琴浦自分ごと化会議 ～町民と考える持続可能な地域交通～

自分ごと化会議が終了しました

今年度、地域が抱える様々な課題について、町民自らが「自分のこと」として現状を知り、意見を出し合うことで、課題解決を目指す話し合いの場として「琴浦自分ごと化会議」を開催しました。

この度は、「持続可能な地域交通」をテーマに10月から2月までの間に計4回の会議を開き、将来の交通のあり方について議論してきました。

会議での意見は、自分ごと化会議からの提案書として町長に提出され、町の交通計画に反映させていただきます。



自分ごと化会議での議論の様子

自分ごと化会議の議論

自分ごと化会議では、タクシーや町営バスが縮小していくことは避けられない、地域の中で移動を支え合う仕組み（共助交通）を拡大していくことが重要であるとの意見が多くありました。

また、町営バスとスクールバスの混乗により、運転手の確保と経費削減を求める一方、児童生徒の安全に配慮する必要があるとの意見もありました。

会議に参加された委員の皆さんが、琴浦町の将来の交通のために自分ができること、地域ができること、行政ができることの視点から真剣に議論されました。

会議の概要

- ・自分ごと化会議委員18人（内訳）
無作為抽出で応募した町民12人
中山間地域の住民代表6人
小学校PTA代表2人
- ・会議日程
10/25、11/21、12/13、2/6
- ・第4回までの会議内容は、ホームページに掲載しています。

自分ごと化会議からの提案書（案）（2/10時点）

提案1

琴浦町民の移動の二一ス（実情）の把握を行い、日常生活に必要な交通手段の確保が困難な町民を支える。

- 項目①：町民の移動手段や地域の実情の把握を行う
- 項目②：民間事業者や医療機関と連携し、移動販売・在宅医療の充実等を図る

提案2

「町民の生活を支えるためには、どのような移動手段を確保する必要があるのか」の視点から、今後の公共交通のあり方を再検討する。

- 項目①：公共交通の利用者を増やす
- 項目②：公共交通を維持するコストを減らす
- 項目③：公共交通の担い手（ドライバー）を確保する
- 項目④：路線バスとスクールバスの効果的な活用を行う

提案3

将来にわたって移動手段を確保できるよう、町内の各エリアに合った共助交通の体制を構築する。

- 項目①：地域で移動を支え合う「共助交通」の体制を作る

提案4

暮らしを助け合える元気な地域をみんなで作っていく。

- 項目①：助け合える地域づくり